

BIND DNS サーバ: TTL(キャッシュ生存期限) の変更方法

TTL(キャッシュ生存期限)

につきましては、各ドメインのゾーンで管理している値となりますので、

変更をご希望の際には、ドメイン毎での設定となります。

一括しての変更は出来ません

下記をお試しください。

1. [サーバ] [BIND DNS サーバ] [変更するドメインのゾーン example.com] と進みます

ログイン名: root
Webmin
システム
サーバ
Apache Webサーバ
BIND DNS サーバ
CVS サーバ
Dovecot IMAP/POP3 Server
MySQL データベース サーバ
Postfix の設定
PostgreSQL データベース サーバ
Proxmox Mail Filter
SSH サーバ
SpamAssassin Mail Filter
Vsfptd
Webalizer Logfile Analysis
ユーザ E メールを読む
その他
ネットワーク
ハードウェア
Cluster
Un-used Modules
Search:

View Module's Logs
システム情報
Refresh Modules
ログアウト

モジュール設定
BIND DNS サーバ
BIND version 9.7.3, under chroot /var/named/chroot

Apply Configuration
Stop BIND
Search Docs...

グローバル サーバ オプション

他の DNS サーバ
ログとエラー
アクセス制御リスト
ファイルとディレクトリ
転送
アドレスとトポロジ
その他のオプション
コントロールインターフェイス オプション
DNSキー
ゾーン デフォルト
クラスタースレーブサーバ
RNDCCの設定
DNSSEC Verification
DNSSEC Key Re-Signing
Check BIND Config
設定ファイルの編集

既存の DNS ゾーン

Select all. | Invert selection. | 新規のマスター ゾーンを作成 | 新規のスレーブ ゾーンを作成 | 新規のスタブ ゾーンを作成 | 新規の転送ゾーンを作成 | Create delegation zone. | Create zones from batch file.

☐ ルートゾーン
☐ 0
☐ 0000::1
☐ 127.0.0.1
☐ example.com
☐ localhost
☐ localhost.localdomain
☐ prox.jp

Select all. | Invert selection. | 新規のマスター ゾーンを作成 | 新規のスレーブ ゾーンを作成 | 新規のスタブ ゾーンを作成 | 新規の転送ゾーンを作成 | Create delegation zone. | Create zones from batch file.

存在するクライアントビュー

このサーバにはクライアントビューが定義されていません。

[新しいビューを作成する](#)

2. マスターゾーンの編集画面となりますので、[ゾーンパラメータの編集] をクリックします

BIND DNS サーバ: TTL(キャッシュ生存期限) の変更方法

[モジュール インデックス](#)

マスター ゾーンの編集

[Apply Zone](#)
[Apply Configuration](#)
[Stop BIND](#)

example.com



アドレス (3)



ネーム サーバ (2)



ネーム エイリアス (0)



メール サーバ (1)



ホストの情報 (0)



テキスト (0)



Sender Permitted From (0)



既知のサービス (0)



責任者 (0)



逆引きアドレス (0)



場所 (0)



サービスアドレス (0)



公開鍵 (0)



IPv6 アドレス (0)



全てのレコードタイプ (6)



レコード ファイルの編集



ゾーン パラメータの編集



ゾーン オプションの編集



使用できる IP アドレスの検索



レコードジェネレータ



Setup DNSSEC Key

ゾーンの凍結

Click this button to freeze a dynamic zone before updating it.

ゾーンの凍結解除

Click this button to unfreeze a dynamic zone after having updated it.

Check Records

Click this button to have BIND check the records in this zone, and report on any problems.

スレーブゾーンに変換する

Turns this master zone into a slave, so that it will receive records from another master server instead of serving them locally.

ゾーンの削除

ご使用の DNS サーバからこのゾーンを削除するには、このボタンをクリックしてください。このサーバがホストしている他のゾーン内にある一致した逆引きアドレスのレコードも削除されます。

[ゾーンリストに戻る](#)

3. ゾーンパラメータの編集画面となりますので、下記の値を任意の数値に変更しまして、

[保存] いたします

[モジュール インデックス](#)

ゾーン パラメータ

[Apply Zone](#)
[Apply Configuration](#)
[Stop BIND](#)

example.com

ゾーン パラメータ	
マスター サーバ	ns.prox.jp
E メール アドレス	root@prox.jp
リフレッシュ時間	10800 秒
転送再試行時間	3600 秒
期限切れ時間	604800 秒
TTL時間のデフォルト	600 秒
このレコードのデフォルトTTL(time-to-live)値	<input type="radio"/> デフォルト <input checked="" type="radio"/> 600 秒

保存

[レコードの種類に戻る](#)

TTL時間のデフォルト

このレコードのデフォルトTTL(time-to-live)値

こちらは、600秒に変更した値となります。

BIND DNS サーバ: TTL(キャッシュ生存期限) の変更方法

4. 最後に[こちら](#)より、BIND DNS の再起動を実施しまして、作業完了となります

一意的なソリューション ID: #1039

製作者: Prox System design

最終更新: 2015-06-05 10:07